

2024年9月2日

各位

東京建物株式会社

スマートフォンによるタッチ入退館・入退室システムを 国内賃貸オフィス初導入

セキュリティ向上、アプリの起動等なしでシームレスな入退館を実現

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員 野村 均、以下「東京建物」）は、オフィスワーカーのスマートフォンにデジタルセキュリティカードを付与し、スマートフォンによるタッチ方式で入退館・入退室が可能となるシステム（以下「本システム」）の導入を決定しましたので、お知らせします。

スマートフォンを使った入退館・入退室（以下「入退館等」）の技術が近年普及していますが、意図せずドアが開いてしまったり、アプリの起動が必要になったりと、セキュリティ性や利便性の面での課題も見受けられます。今回、これらの課題を解決する新技術を用いた本システムを、国内の賃貸オフィスビルにおいて初めて導入します^{※1}。

本システムの導入により、より高いセキュリティレベルを実現するとともに、QRコード提示やスマートフォンアプリの起動等なく、シームレスな入退館等が可能となります。第一弾として、東京建物が再開発組合の一員として参画している「東京駅前八重洲一丁目東B地区第一種市街地再開発事業（以下「八重洲プロジェクト」）」のオフィスエリアにおいて本システムを導入し、今後他物件への展開も検討してまいります。

※1 2024年8月31日時点、東京建物・株式会社日立製作所（以下「日立」）調べ。近距離無線通信技術を利用しており、QRコードを提示する方式やBluetooth Low Energy(BLE)通信を活用する方式など、既存の方式とは仕組みが異なるものです。



タッチ入退館等のイメージ

【本リリースの特徴】

- ・ スマートフォンタッチ方式の入退館・入退室システムは国内賃貸オフィス初の導入。
- ・ 物理カードとしてのセキュリティカード発行が不要に。管理の手間やコストを軽減し、セキュリティレベルを向上。
- ・ チームラボの協力により、オフィスワーカー向けのスマートフォンアプリを独自に開発。デジタルセキュリティカードの付与に活用するほか、オフィスワーカーの利便性向上に貢献。

● 本システムの導入背景と概要

出社勤務とテレワークを組み合わせたハイブリッドワーク等を導入する企業が増える中、企業のセキュリティカードの管理は複雑性を増しています。そうした状況への対応策として、海外のオフィスビルでは、デジタルセキュリティカードをスマートフォンに付与し、タッチ入退館等を行う仕組みが普及し始めています。

本システムでは、東京建物がチームラボの協力のもとオフィスワーカー向けに開発するスマートフォンアプリと、HID Global Corporation のクラウドサービス（国内販売代理店：高千穂交易株式会社）およびカードリーダー、日立の入退館・入退室システムを連携させることで、ストレスの無いタッチ入退館等を実現します。

スマートフォンアプリ企画
オフィスご入居者様への提供

スマートフォンアプリ開発



総合型入退室管理システム「秘堰」の提供

タッチ入退館・入退室用
クラウドサービス提供



● 本システムの特徴

カードレスでのシームレスな入退館等

普段から携帯しているスマートフォンをリーダーにかざすだけで、オフィスビルのエントランスゲートや自社の入居フロアのドアを解錠し、入退館等を行うことができます。

セキュリティカードの紛失等のリスクや、管理の手間を軽減

物理カードとしてセキュリティカードを発行している場合、紛失や盗難のリスクがあるほか、社員の入社や退職に伴うカードの新規発行や回収、来客時の一時貸与など、さまざまな管理上の手間がかかります。本システムの導入により、そうした管理上のリスクや手間を軽減することができます。

環境負荷を低減、半導体不足にも対応

物理カードの多くはプラスチックが使用されており、物理カードの配布をしないことで、同規模のオフィスビルと比較するとビル開業時だけで約 75kg のプラスチック使用量の削減が見込まれ^{※2}、環境負荷を低減する効果もあります。

また、物理カード内には半導体チップが内蔵されるため、本システムの導入により、半導体の供給不足にも対応します。

※2 八重洲プロジェクトと同規模のオフィスビルを想定。カード 1 枚あたりのプラスチック使用料を約 5g とし、15,000 枚分の削減を見込む。

● スマートフォンアプリについて

八重洲プロジェクトのオフィスエリアで働くオフィスワーカーの一人一人の体験価値向上を目的に、数々のアプリ開発の実績があるチームラボの協力を得て、東京建物独自のスマートフォンアプリを開発します。アプリを介してスマートフォンにデジタルセキュリティカードを付与するなど、タッチ入退館等のハブとなるだけでなく、混雑情報表示や館内施設案内、施設予約等の機能の搭載を予定しており、オフィスワーカーにとって働きやすい環境を提供します。

《ご参考》

- ・ 東京駅前八重洲一丁目東 B 地区第一種市街地再開発事業公式サイト
<https://office.tatemono.com/yaesupj/>

以上